



「すくすく育っています！伊丹市の子どもたちの学力」

～令和8年度「全国学力・学習状況調査」の伊丹市の結果より～

(本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です)

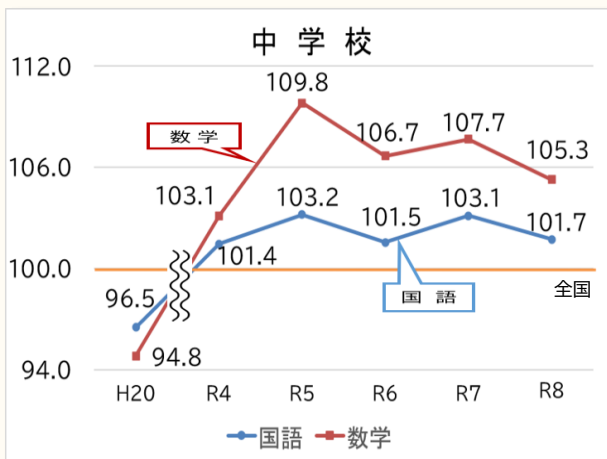
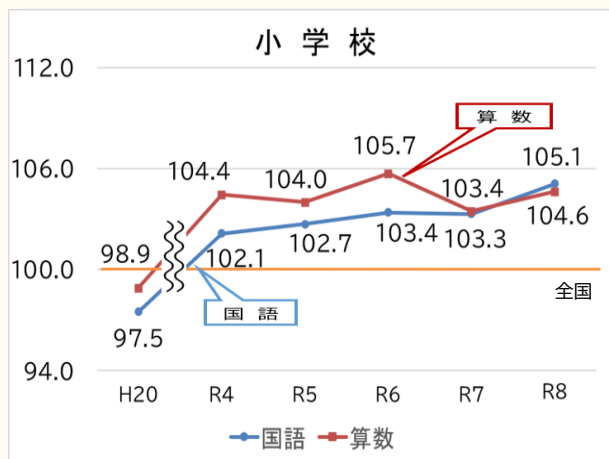
全国の平均正答率を100とした場合の伊丹市の平均正答率

小学校	国語	算数	中学校	国語	数学
	105 (64%)	105 (59%)		102 (65%)	105 (60%)

*カッコ内の数値は本市の平均正答率

小学校・中学校ともに2教科において全国平均を上回っています

全国の平均正答率を100とした場合の各教科の経年変化



伊丹市の中学校英語のIRTスコア

(聞くこと・読むこと・書くこと)

○ 聞くこと・読むこと・書くこと 506(499)

○ 聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと 505(499)

※カッコ内の数値は全国のIRTスコア

*英語については3年に1度の調査になります。



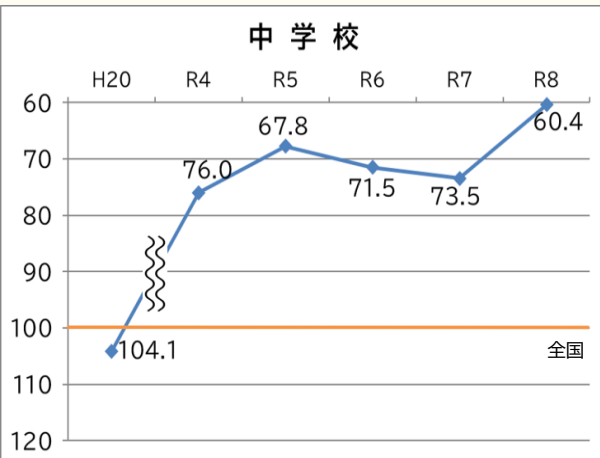
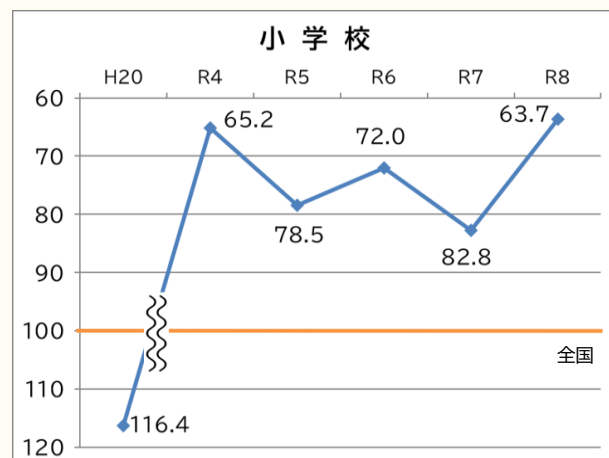
タブレット端末で実施



[IRTについてはこちら](#)
(文部科学省資料)

無解答率の経年変化

全国の無解答率を100とした場合の伊丹市の無解答率の推移
(国語と算数・数学の合計) *数値が低いほど、無解答が少ない



※子どもたちの学びに向かう力のひとつである「粘り強さ」が育っています。



カラフルな教育

調査問題から

全国的に課題が見られた問題かつ小中学校で同じ領域の問題を取り上げました。伊丹市は多くの問題で全国の平均正答率を上回っていますが、小・中学校のつながりを踏まえた指導の充実によりさらなる学力向上を目指します。

国語 領域「書くこと」

問 題	小学校 国語 2四	中学校 国語 3四
正 答 率	33.8%(33.5%)	45.6%(45.0%)
出題の趣旨	引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる	表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことができるかどうかをみる
小中のつながり	書き表し方を工夫する力を土台に、中学校では表現の効果について考えを深め、自分の文章に生かす力が求められている	

※カッコ内の数値は 全国の平均正答率

※問題の詳細につきましては、下の二次元コードからご確認ください。

算数・数学 領域「データの活用」

問 題	小学校 算数 4(1)	中学校 数学 9(3)
正 答 率	59.6%(56.2%)	33.4%(31.9%)
出題の趣旨	示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかどうかをみる	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明できるかどうかをみる
小中のつながり	読み取ったデータを根拠に説明する力を土台に、中学校ではデータの傾向を捉え、判断の理由を説明する力が求められている	

※カッコ内の数値は 全国の平均正答率

※問題の詳細につきましては、下の二次元コードからご確認ください。

小学校の教員は中学校で求められる力を、中学校の教員は小学校での学びを把握することで、授業改善につなげます



調査問題・正答例・解説資料は
こちらからご確認ください
(国立教育政策研究所HP)

【問合せ先】
伊丹市教育委員会事務局 学校教育課
TEL 072-780-3534



学習状況調査から(主なもの)

さらに育んでいきたい

ウェルビーイング*

*ウェルビーイング

身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。
(文部科学省 第4期教育振興基本計画【概要】より)

小・中学校の9年間を通して育まれています！

○普段の生活の中で幸せな気持ちになる

小学校…93.0%

中学校…91.2% (91.0%)

今回の調査を受けた
生徒が小学校6年生時の値

アップ!

○自分には良いところがある

小学校…83.1%

中学校…83.5% (82.8%)

アップ!

○先生は、よいところを認めてくれる

小学校…88.1%

中学校…89.8% (88.1%)

アップ!

○友達関係に満足している

小学校…90.2%

中学校…91.2% (89.3%)

アップ!

○人の役に立つ人間になりたい

小学校…95.8%

中学校…95.6% (95.7%)

○学校に行くのは楽しい

小学校…81.5%

中学校…84.0% (83.4%)

アップ!

これからさらに育てていきたい

※80%以下で、全国平均と比較して課題がみられた項目

○主体性

自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、
話の組み立てなどを工夫して発表していた

小学校…58.4%

中学校…60.2%

○他者とのつながり

自分と違う意見について考えるのは楽しい

小学校…72.2%

中学校…73.6%

○教科のまなび

国語の勉強が好き

小学校…53.3%

中学校…51.3%

日々を見直す機会に

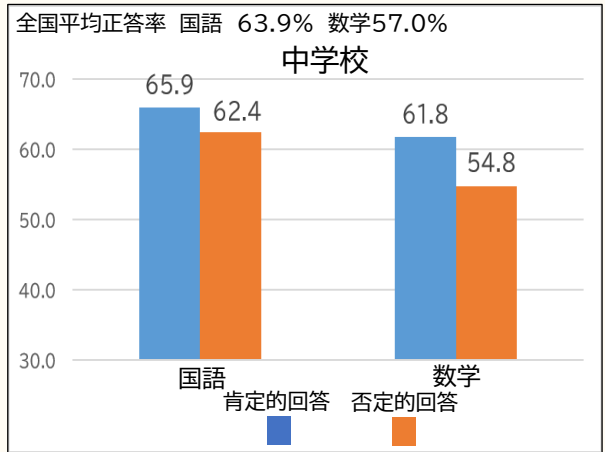
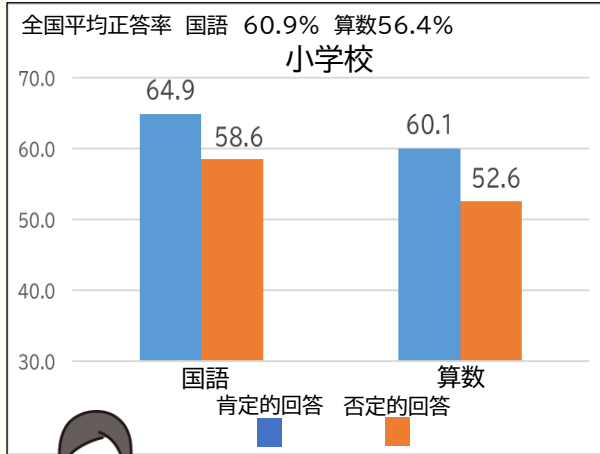
(学習状況調査と平均正答率のクロス集計より)

クロス集計は相関関係(※)が見られるかを分析したものであり、因果関係を示したものではありません。
(※2つの項目の何らかの関係性のこと)



家庭では

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」への回答別平均正答率



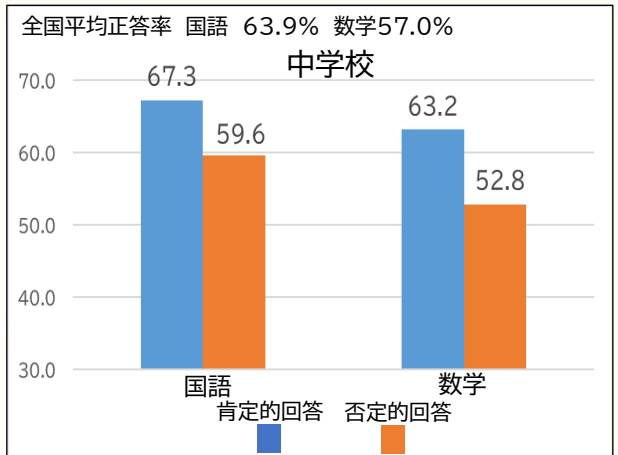
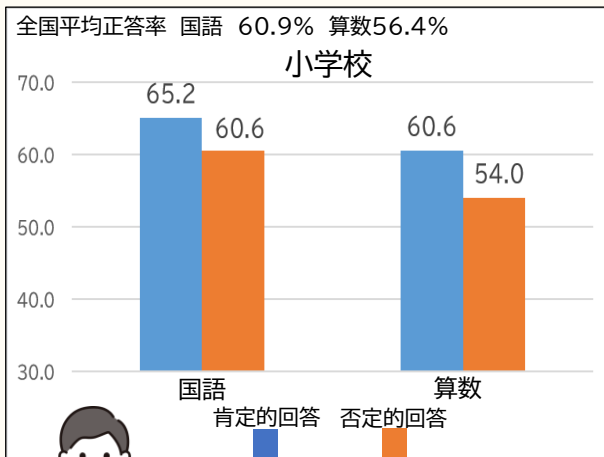
肯定的に回答した児童生徒の方が、平均正答率は高くなっていますね

幼少期から、睡眠を中心とした
生活習慣の確立を！



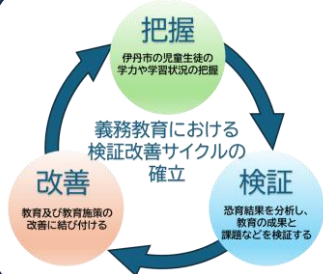
学校では

「自分と違う意見について考えるのは楽しい」への回答別平均正答率



主体性や教科への興味に関する質問でも同様の傾向が見られました

ちがいを豊かさにつなげる
「カラフルな教育」の推進を！



本調査で測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校の教育活動の一側面です。一方で、全国で実施されている貴重なデータでもあります。

今回の調査結果をもとに、自分たちの学校や市の状況を**把握**し、**検証**し、**改善**に努めていくことが大切です。

子どもたちの「最善の利益」のためにも「学力の向上」は重要です。子どもたちの学力向上につながるよう、学校・家庭・地域が協力して支えていきましょう！



これまでの「伊丹市の学力の現状と対策」はこちら